２学期 終業式

おはようございます。

明日から、冬休みが始まります。今日は皆さんと２学期を振り返りたいと思います。

２学期は、大塚祭文化の部や体育の部といった大きな学校行事がありました。コロナ感染症による制限がなくなり、４年ぶりにコロナ禍以前の大塚祭を実施することが出来ました。その中で、生徒自治会執行部を中心に皆さんが自主的に考え行動し、工夫を凝らし素晴らしい大塚祭を実施することができました。　地域住民の方々も小さいお子さんと一緒に楽しい１日を過ごしていただきました。来年は皆さんの意見取り入れてさらに素晴らしい大塚祭を創り上げて欲しいと思います。

また、「ワンデー大塚」、「ふれあい大塚」、そして「学校説明会」でも生徒の皆さんがさまざまな形で本校の魅力を発信してくれました。

さて、私は10月から12月にかけて、先生方ひとり一人の授業見学をしました。授業中、表情が生き生きとして、目力にあふれ、意欲的に取り組んでいる生徒の皆さんに無限の可能性を感じました。

しかし、顔は上がっているが、先生の話は上の空で表面的にしか授業に参加していない人、ノートも写さず、教科書も開かず、全く授業に参加していない人もいました。少し、がっかりしました。皆さんにとって無駄な時間はありません。本当に時間を大切にしてください。授業では「学ぶ」ために「何かを吸収する」ために時間を使ってください。「学ぶ」「知識を得る」ということは、自分自身を守ることに繋がります。

そんな中、２年生の国語の授業で募集し、「第４回さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」で入選した歌を紹介します。入賞作品は歌集として製本されます。

**「君宛にはなった言葉落下して 二人の間静けさ残る」**青春のいい匂いが漂ってくる唱だなあと感心しました。

さて、先ほど時間の大切さについて触れましたが、今、皆さんはここで私の話を聞いています。時間と空間を共有しています。24時間後、1年後、そして、10年後はそれぞれが違う空間にいると思います。でも時間だけは平等に過ぎていきます。時間は平等なはずです。

しかし、平等なはずの大切な時間を奪ってしまう残念なことがありました。先日の人権学習の時もそうでした。また、些細ないたずらや迷惑行為で集会を何度も開いた学年もありました。一部人が何も考えずその時の気分で行った行為が他の人の大切な時間を奪っています。

全体に指導や注意をする時間が10分だとします。10分あれば何キロ走れま

すか。何メートル泳げますか。シュートを何本打てますか。素振りが何回出来ますか。英単語いくつ覚えられますか。全体への指導の回数が6回あれば1時間です。バイトの時給いくらですか。軽い気持ちで行った身勝手な行動が人の大切な時間を奪っているということを自覚してください。

一方でそのような迷惑な行為をしてしまう人は本当は寂しいのだと思います。自分のイライラや苦しい、やるせない思いをそのような迷惑行為で一時的に発散させているのです。そんな思いに気づいてあげられなかった我々にも責任はあります。

大塚高校は我々教職員にとっては大切な職場であり、生徒の皆さんにとっては大切な母校です。先日も東北楽天ゴールデンイーグルスの本校31期生 村林選手が母校に来てくれました。オフシーズンには必ず母校である大塚高校を訪問してくれているようです。そんな大切な母校の評判を自ら落とすことは、自分の評価を自ら落とすことになります。もう１度よく考えて行動してください。

皆さんも知っているとおり大塚高校のスローガンは「大塚Dream勇気！元気！本気！」です。大塚高校で過ごす3年間で自分の夢や希望を勇気をもって元気よく、そして本気になって実現させよう！という意味です。

　元高校教員でもあり、詩人でもある「坂村真民さん」は

**「本気になると、世界が変わる、自分が変わる**

**変わってこなかったら、まだ本気になっていない証拠だ」**と言っています。

明日から冬休みですが、年が明ければ１年間のまとめの時期です。

ここにいる生徒全員が進級・卒業できるように、また、部活動でも成果が出るようにこの冬、本気になった皆さんの姿・頑張りを期待しています。「やる」のではなくて「やり切って」下さい。

以上で２学期終業式のあいさつを終わります。